

MCS 税理士法人立川事務所通信

8月号 VOL. 180

MCS 税理士法人立川事務所

〒190-0023

立川市柴崎町3-11-4 東京ロジテック千代田ビル4階

電話：042-595-7671 FAX：042-528-6949

<http://www.mcs-office.jp> mail:info@mcs-office.jp

相続専用HP：<http://www.souzokushien110.com/>



えんまん

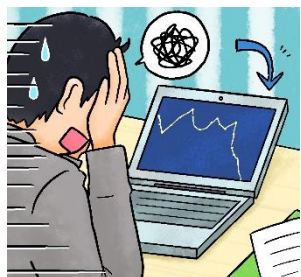
遺言相続支援センター

戦後79年。時代は昭和から平成、そして令和へと移り変わり、戦争を経験した人も、惨禍(さんか)を語り継ぐ人も減っています。戦後生まれが8割を占め、戦争が「記憶」から「歴史」へと形を変えていく中で、私たちは次世代に何を伝え残していけるだろうか。平和の尊さに思いをはせながら明るい未来を願う8月です。

知っどこ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【株取引で損失が出た場合には】

株取引で利益が出たら税金がかかります。では損失を出したらどうなるのでしょうか？株取引を特定口座の「源泉徴収あり」で行ってれば、同じ証券会社内で生じた利益と損失は自動的に税額が計算されます。しかし証券会社が異なる場合は、確定申告をしないと損益通算をすることができません。



また株の損失は「3年間繰り越す」ことができます。つまり翌年以降に株で利益を出したときは、相殺することができるのです。ただし株の損失を繰り越すためには、多くの会社員のように確定申告を必要としない人の場合でも、確定申告が必要となります。「確定申告なんて面倒だな」と思われるかもしれませんが、申告をして繰り越しをしておかなければ、株の損失はその年でバツサリ切り捨てられてしまいます。

ちょっと面倒かもしれませんが、その後、損失を取り返したときに「あのときちゃんとしておけばよかった・・・」と後悔しないためにも、確定申告はきちんとしておいたほうがいいですね。

世界の偉人伝

今月の偉人：【カーネギー】

アンドリュー・カーネギーは「鉄鋼王」と呼ばれたアメリカの実業家です。スコットランドの手織職人の家に生まれ、13歳でアメリカに移住しました。綿工場や電信局、鉄道会社を転々として仕事に励み、経営や投資を深く学びました。自ら創業した鉄鋼会社は成功を収め、ロックフェラーに次ぐ大富豪となりました。66歳で引退後は「金持ちとして死ぬことほど不名誉なことはない」と、篤志家として慈善事業に力を注ぎました。財の成し方と使い方、双方に哲学を持つ人物だったのです。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【resort】

夏休みは観光地やリゾート気分を味わえる施設などへ行けるとうれしいですね。「〇〇リゾート」など「行楽地・保養地」という意味ですっかり日本語としてなじんでいる“resort”は、他に「(困ったときの)頼みの綱」という意味もあります。そのため“last resort”は「最後の行楽地」ではなく「最後の手段」という意味になります。“Japanese police are allowed to use guns only as a last resort.”は「日本の警察では最終手段としてのみ拳銃の使用が許可されている」という意味です。



今月のトピック：【鶏焼食堂テトラ長崎大学店】

長崎大学のキャンパスに居酒屋がオープンしたと話題です。佐世保市にある「鶏焼食堂テトラ」は、自分で網焼きするスタイルの焼き鳥店。長崎大学店では、昼は定食メニュー、夜は居酒屋としてお酒も提供し学生同士はもちろん、職員とも楽しめると好評です。公募で出店した地元で人気の居酒屋が、地域住民も集う憩いの場を提供しています。



才人の言葉

天上天下唯我独尊

釈迦が言ったとされる言葉。天上天下唯我独尊（てんじょうてんげゆいがどくそん）とは一人一人が尊い存在ゆえに「人と比べず己の人生を歩め」という意味である。

振り向けばあそこにも「商売のヒント」ここにも

今月の商売のヒント：【逆境で結果を出せる人】

商売をしていれば、厳しい環境や予期せぬ困難にしばしば直面します。しかし逆境の乗り越え方で、その後の成り行きは大きく変わります。いわゆる成功者と呼ばれる人に共通しているのは、決してネガティブな状態にとどまらないというマインドセット。彼らは自分のマインドをコントロールし、精神的な圧力を乗り越え、ポジティブな視点を持つ方法を知っています。そのひとつは、流れが悪い状況で勝負しないこと。どんなに頑張っても評価されない、認められないという状況はあります。そこでもがいても事態は好転するどころか、ますます泥沼になってしまうこともあります。非常に悔しい状況ではありますが、ここで大事なことは「今は流れが悪い」とはつきり認識することです。流れが悪いときに「勝ちたい」「評価されたい」と努力をしても、状況は容易に変わりません。そんなときは「今は勝負するときではない」と割り切り、周囲の評価を気にせず、日々の仕事に集中することが賢明です。あれこれ動きすぎないほうが、かえってよい流れをつくっていくこともあります。無駄な労力を消費せず、淡々と自分の能力を高め、次の来るべきときに備えることに力を注ぐ。逆境の中で静かに力を蓄えておけば、ここぞという好機ですすぐ行動に移せるでしょう。そしてもうひとつ「気にしない」という鈍感力も逆境に強くなるマインドセットとして覚えておきましょう。困難な状況は永遠に続くわけではありません。どんなときもネガティブになり過ぎず、うまくいかないと感じたら「まあいいか。こんなときもあるさ」と声に出して深呼吸でもしてみましょう。きっと大丈夫です。



トナりの本棚

【俺たちの箱根駅伝】

『半沢直樹』の著者として有名な池井戸潤の最新作。箱根駅伝での活躍を目指すランナーたちと、生中継するテレビマンの奮闘を描いた読後感の良い一冊です。



長期間の保管でしおれてしまった葉物野菜は、お湯に浸すとシャキツとします。お湯によつて葉物野菜の気孔という小さな穴が開き、水分を吸収してみずみずしい食感が復活します。50度くらいのお湯に1〜2分浸せば、水溶性ビタミンの流出も抑えられます。

